

今後4年間で重点的に取り組む政策について

基本理念

社会の意識や課題を踏まえ「7つの重点政策群（仮称）」であたたかい京都づくりを展開

背景

○新たに生じた社会の変化・課題

- 新型コロナウイルス感染症の世界的拡大
- 原油価格・物価高騰
- ロシアによるウクライナ侵攻

○現行計画策定前から存在する中長期の課題

- 人口減少・少子高齢化
- 自然災害の激甚化・頻発化
- 地球温暖化の進行

改定案

あたたかい京都づくりに向けた「7つの重点政策群（仮称）」

安心

①
安心できる医療・
福祉基盤の充実

②
災害・犯罪等からの
安心・安全

③
子育て環境
日本一
・
京都の実現

温もり

④
豊かさを感じられる
共生の京都づくり

⑤
未来を拓く産業づくり

夢実現

⑥
文化の継承と創造

⑦
交流による新たな
地域づくり

成長・交流・情報・暮らしを支える基盤

論点

- <日本の産業の国際競争力が低下しているといわれている中で、京都の産業活力をどう取り戻し、維持、発展させていくか>
- ① 恒常的な人手不足、後継者不足、市場変化への対応
 - ② 社会課題解決を見据えた産業育成とスタートアップ支援

重点政策分野

【地域特性を踏まえた新たな産業創造のためのリーディングゾーンの構築】

論点②に対応

【主要な方策（案）】

- 京都が持つ各種の資源を再評価し、国内外から注目されるテーマを設定して国際的なオープンイノベーションを展開
- (例)
- ・世界最高レベルのシルクの染めと織りの技術を活用した国際的なテキスタイル産地の形成
 - ・世界でも珍しい映画・ゲーム・アニメに関する起業が立地する京都の魅力を生かした、メタバース時代をリードするコンテンツ産業の育成
 - ・長い歴史が育んだ京都の文化を活かした世界初となるアートとテクノロジーを融合した産業の創出

基本方針(案)

▶ 中小企業の経営安定を図りながら、京都の強みを活かして、社会的・構造的な課題を解決して、世界的な競争にも打ち勝てる新産業の創出や産業政策と一体となった人づくりを促進する

▶ 次代の農林水産業を育てるため、集落連携、新たな需要開拓及び府研究機関の機能強化を図り、民間企業・大学との研究成果を活かすことで、農林水産業の成長産業化、活力に満ちた農山漁村づくりを進める

【企業経営・産業集積の継続に向けた事業承継の促進】

論点①に対応

【主要な方策（案）】

- 京都の老舗企業の経営哲学や知恵の経営等を活かし、事業承継の全段階で伴走支援する仕組みづくり
- 地場産業産地、産業集積がスケールアップし、持続できる仕組みづくり

【世界に伍するスタートアップ・エコシステムの展開】

論点②に対応

【主要な方策（案）】

- 産業創造リーディングゾーンと連動した伴走支援を充実し、海外から京都に集う起業人材を増やす仕組みづくり

【京都の食文化を支える農林水産業の新展開】

論点①②に対応

【主要な方策（案）】

- フードテックの社会実装を展開する「京都フードテック構想（仮称）」の推進
- 農林水産技術センターの再整備による機能強化により、機能性食料・品種等の開発を促進

論点

- ① 京都文化の維持・継承をどのように進めるべきか
- ② 文化庁京都移転、大阪・関西万博開催のインパクトを京都からの文化創造・発信にどのようにつなげていくか

重点政策分野

【京都文化の維持・継承】

論点①に対応

【主要な方策（案）】

- 地域の祭りや伝統芸能等の地域文化の継承に向け、文化観光サポーター等の専門人材を配置し地域外からの支援拡大につなげる「地域文化活性化プロジェクト」の展開
- 京料理や茶道、華道、その他の生活文化に親しむ機会を創出し、京都に根付く暮らしの文化の継承につなげ、国内外へ発信
- 関西文化学術研究都市における高度な文化財修復技術を生かした「文化財保存修復拠点」の誘致

基本方針(案)

- ▶ 心のうるおいや地域の絆の確保など、文化の持つ役割を再認識し、文化の維持・保存・継承・定着を進めることで、京都の地域文化を守り、育てる
- ▶ 文化庁の京都移転や大阪・関西万博の開催を契機として、京都文化の国内外への発信を強化するとともに、新たな文化を府域全体で創造する

【文化芸術のグローバル展開】

論点②に対応

【主要な方策（案）】

- VR、AR等を活用した地域文化の魅力発信によるリアル体験への誘客や、非公開文化財の映像化による保存・継承の機運醸成
- 世界で活躍する一流アーティストの作品や、京都と世界のクラフトを一堂に鑑賞、販売する「京都国際アートフェア」の展開

【新たな文化創造・発信】

論点②に対応

【主要な方策（案）】

- 文化庁移転や大阪・関西万博等の国際イベントを契機とする、文化庁等と連携した文化発信の推進
- (例)
- ・府内各地でのアーティスト作品の展示や府民参加型の音楽祭等の展開
 - ・小学生等による地域伝統芸能を発表する機会の創出による、伝統芸能を支える次世代の担い手の育成
 - ・文化芸術に触れる機会が少ない子ども等がアートに触れられる機会を創出する「子どもアートプロジェクト」の展開 等
- 文化庁移転を記念した、国内外から京都に集い、後世に引き継がれる文化イベントの創設

【文化創造の場・環境づくり】

論点②に対応

【主要な方策（案）】

- 恭仁宮跡の特別史跡化など府内の史跡の魅力掘り起こしと活用整備の促進
- 丹後地域の歴史、文化、観光の拠点施設となる博物館をめざす府立丹後郷土資料館のリニューアル
- 府立日本館や元京都府議会議員公舎（旧富岡鉄斎邸）の保存活用等、京都の様々な資源の磨き上げによる京都文化発信への活用
- 府立文化芸術会館等、老朽化が進む既存文化施設の機能継承も踏まえ、舞台芸術・視覚芸術拠点施設（シアターコンプレックス）など、旧総合資料館跡地、植物園などの整備推進

論点

- ① 京都の強みである学生之力、スポーツ之力、観光を通じた交流を地域の活性化に結びつけるため、どのような仕組みが必要か
- ② デジタル技術等の新技術活用による地域課題解決や、連携・協働による持続可能な農山漁村づくりをどのように進めていくべきか

重点政策分野

【大学・学生之力、スポーツ之力を活かした社会の活性化】

論点①に対応

【主要な方策（案）】

- 子どもたちがやりたいスポーツをできるよう、スポーツ団体等と連携し、「京のジュニアスポーツアカデミー（仮称）」を創設
- 大学・学生と地域団体や企業、市町村とのマッチングの支援や、府や市町村の事業に学生が参画する仕組みづくりを通じた、地域や地域産業を担う人材育成
- 府立京都スタジアムや府内各地域の施設を活用したスポーツの大会開催や練習環境の整備によるスポーツの裾野の拡大

基本方針(案)

- ▶ 京都の強みである大学・学生之力や、スポーツ之力を地域に取り入れることで多様な地域の担い手を創出し、さらに観光を通じた交流機会を拡大させることで、地域の魅力を向上させ、交流を通じた地域の価値を創造し、それぞれの地域が望む未来像の実現をめざす
- ▶ 交流の基盤と集積の活用、新技術と府民の生活ニーズとの融合、地域における地域特性に応じた持続可能で暮らしやすい環境づくりを総合的に推進

【交流の基盤と集積、新技術を活かした新たな地域づくり】

論点②に対応

【主要な方策（案）】

- 産業創造リーディングゾーンなど、地域の特性を生かした取組を踏まえた市町村のまちづくりへの支援
- AIを活用した災害予測、遠隔診療又はMa a Sなど、府民生活に身近な分野におけるデジタル技術の実装促進、デジタル人材の育成、デジタルデバイド対策等の推進
- 鉄道駅における利用環境の整備や駅を中心としたにぎわいづくり等による公共交通の利用促進

【交流機会を創出する観光】

論点①に対応

【主要な方策（案）】

- 人と人が出会い、交流が生まれることによって創出される新たな価値(魅力)の磨き上げと、ターゲット層のニーズを踏まえた情報発信、交流ニーズに応じた新たなビジネスモデルの開発の促進
- 「京都観光アカデミー」の創設による、交流を促進する人材の育成
- 観光産業全体のデジタル変革に向けた、ビッグデータの利活用やデジタル活用のための環境整備の促進

【交流と連携・協働による持続可能な地域づくり】

論点②に対応

【主要な方策（案）】

- 移住者等の応援拠点整備など、移住者が地域で活躍できる環境づくりの推進
- 「農村型地域運営組織（農村RMO）」等の地域連携体の形成による持続可能な農山漁村コミュニティづくりの推進
- 集落連携により低コスト・高収益な営農モデルを確立するためのメガ団地（100ha）の形成等による持続可能な地域農業の創出
- 京都府北部地域連携都市圏の水平連携による施策展開の推進